

研究名

がん化学療法患者における亜鉛欠乏性味覚障害に対する亜鉛補充の有用性と薬剤師介入効果の検討

1. 研究の対象

2022年4月から2024年3月に、外来点滴化学療法施行中 Grade1 以上の味覚障害を訴えた患者

2. 研究目的・方法

がん化学療法中の味覚障害は、患者の quality of life、栄養状態に影響を及ぼす。抗がん剤による味覚障害は、味蕾の再生に必要な亜鉛（以下、Zn）が薬剤とキレートを形成し吸収が阻害される機序などが報告されている。しかし、Zn 補充を有用とするエビデンスは確立していないため、味覚障害に対する Zn 補充及び薬剤師の介入が患者アウトカムに及ぼす影響を検討した。2022年4月から2024年3月に、外来点滴化学療法施行中 Grade1 以上の味覚障害を訴えた患者を対象とし、化学療法歴、Zn 値、Zn 補充有無、症状、体重、検査値、薬剤師介入有無を後方視的に調査した。Grade2 以上の悪心嘔吐、治療開始前からの Zn 欠乏、1 ヶ月以内に処方中止となった症例は除外した。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 木原 星衣

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 木原 星衣